

関東として

全国大会へ

稲見和真さん(川中子1区)



昨年5月に行われた全日本中学生卓球選手権大会県予選で優勝した稲見和真さんです。

稲見さんは、お父さんの影響で、幼稚園の頃から卓球を遊びのような感じで始めていたのだ、「いつから始めたかわからないが、本格的に競技を始めたのは小学校4年生のときからです。」と話をしてくれました。

昨年行われた大会で中学校2年生ながら優勝。また、夏に行われた力デットの部でも見事3位に入賞し、全国大会へ出場しています。

現在は、町の白鷺卓球クラブに所属しながら、競技者としてのレベルアップのため、毎週月曜日から木曜日までは栃木市の卓球クラブに通っ

今月の輝ける星

ています。学業と運動を両立しながら頑張っている稲見さんにとって一番苦しいことは「練習がきついです。」でも、「一番喜びを感じるときは「試合に勝ったときです。」と話をしてくれました。

両親が卓球、お兄さんもサッカーをしているスポーツ一家で、父としてコーチである仁志さんにお話を聞くと「精神面・体力面が今後の課題。」と熱いまなざしで話をしてくれました。

現在、明治中学校3年生で今後が期待されます。目標を聞く、「関東大会、そして全国大会へ出場することです。」と意気込みを語ってくれました。



長さが約26cm、太さが直径が3cm程度のものだそうです。

ビニールハウスで栽培を行う

ため、収穫は1月から10月の10ヶ月間で、夏の暑い時期は、病害虫との戦い、温度管理に細心の注意を払いながら、栽培をしているとのことです。

調理方法にもムダがなく、茹でてよし、焼いてもよし、それに炒めてもよしと食べ方はいろいろで、疲れを感じたら栄養満点のグリーンアスパラガスで栄養を補給しましょう。

また、稲葉さんは「ゆで汁に塩、コショウを入れてスープにしたものもおいしいですよ。」と教えてくれました。

実際に生産をしていて一番喜びを感じるときは「初出荷したときが一番ですね。」とグリーンアスパラに対する思いを話をしてくれました。

わが町の農産物



グリーン

アスパラガス編

今年は、町の農産物についてシリーズで紹介していきます。

第1回目は、春収穫最盛期のグリーンアスパラガスです。

JAうつのみやグリーンアスパラガス専門部会の部会長であります稲葉長広さん(下神主)にお話を伺いました。

稲葉さんは14年前に生産を始め、1年目は3人で始めたグリーンアスパラガスの生産も、現在では30人が町内で生産しており、県内でもトップクラスの生産量を誇っています。

ここまでの道のりは長く、何度も先進地視察や現地検討会を繰り返し、現在に至っているとのことです。

グリーンアスパラガスの株は、実際に収穫を始めてから3年から4年ぐらいが一番良いものが収穫でき、出荷する最大のもは1本あたり、

